

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	1	スペースについては、国の定める基準では児童一人当たり2.47㎡となっており、基準以上のスペースが確保されております。	利用児童一人当たりの広さは、法令基準を満たしています。活動に応じて配置を工夫して、より良い環境づくりを努めてまいります。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して職員の配置数は適切であるか。	8	1	国の基準では、1つの事業所に児童発達支援管理責任者・管理者を1名以上配置し、職員数は児童10名までに2人、それ以上の児童が利用する際には児童5名につき職員を1人ずつ増員するよう定められており、基準配置以上の職員がおります。	基準よりも多い職員を配置し、療育に関わる職員は、全員保育士資格などの有資格者が対応しています。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9		室内には段差がなく、車いすでの移動にも支障の真実環境になっております。		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9		毎日、児童が利用された後に清掃・消毒をおこない、清潔で心地よく過ごせるよう努めております。		
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9		児童の特性や情緒、状況に応じて個別の部屋を使用するようにしています。		
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9		毎日のミーティングやケース会議、リフレクション会議には常勤、非常勤を問わず職員が参加し、多角的な視点から現状の把握や課題の抽出をおこない、今後の方針を検討しております。		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		定期的にアンケートによる評価を実施し、ご相談があった場合はその都度職員へ周知し、業務改善につなげております。		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		定期的なリフレクション会議を実施し、業務や環境に関する意見交換をおこない、業務改善に努めております。		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	9		現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	9		事業所内研修を計画・実施しております。外部研修の情報は逐一職員に共有し、参加者の資料などを活用して情報共有をおこない、資質の向上に努めております。		
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9		公式Webサイトにて公表しております。		
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9		モニタリングや面談等から得た情報をもとに、児童発育、療育を担当する指導員や保育士による支援会議を実施し、保護者様のニーズや児童の課題に応じた適切な計画の作成に努めております。		
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9		モニタリングや面談等で得た情報をもとに、児童発育だけでなく、療育を担当する指導員や保育士など支援に関わる職員全員が支援会議をおこない、共通理解のもとで児童の最善の利益を考慮した計画の作成に努めております。		
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9		児童発達支援計画は職員間で共有し、支援内容や目標を確認しながら、計画に沿った支援をおこなっております。		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9		書類統一と整備をおこない、年齢や児童の状況に応じてアセスメントツールを活用しております。		
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域連携・地域連携」のわらひ及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9		今後も引き続き、支援計画はガイドラインから適切な項目を選択し保護者様にわかりやすい支援内容の設定に努めてまいります。		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9		管理者・児童発育・児童指導員・保育士・作業療法士などさまざまな立場から意見を出し合い、児童の状況や課題、季節に応じたプログラムをチームで立案しております。		
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9		活動内容は自社のカリキュラムに沿いつつ、課題に対するアプローチの方法をカスタマイズ、固定化しないよう工夫しております。		
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9		個別活動と集団活動を特性や発達段階・年齢、保護者様のニーズに応じて計画的に組み込んでおります。		
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9		毎朝ミーティングをおこない、その日の支援方針や内容について話し合い、目的や注意事項を確認し、支援内容を決定しております。		
関係機関や保護者との連携	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。	9		支援終了後、支援内容を報告し合い、職員間で情報共有をおこなっております。気になる点はずっとに児童発育へ報告し、対策・改善策をミーティングで話し合い、共有しております。		
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9		日々の支援内容を記録し、職員間で共有できる体制を整えることで、迅速な検証と改善ができるようにしております。		
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9		定期的にモニタリングをおこない、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しをおこなっております。		
	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9		児童の状況に精通している児童発育や専門職の職員が担当者会に参加しております。		
	25 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	1	関係機関連携会議の開催により連携を図っております。	関係機関との連携の情報は職員間で今度まで以上に拡充されてまいります。	
	26 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等の間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9		関係機関連携会議を開催し、連携を図っております。また、送迎時にも連携をおこない、降園時間の変更等について担任の先生と連絡・調整をおこなっております。		
	27 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学校)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9		今年は保護者様からのご要望はございませんでした。		
	28 (28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
	29 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
	30 (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
保護者への説明等	31 (31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。			9	必要に応じて、専門機関へ訪問し、助言を受けております。また、定期的に岡山支援部会などにも参加し、連携や研修をおこなっております。	以前より、関係機関との連携が少なくなってきたため、今後の課題として検討してまいります。
	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。			9	個人情報保護の観点から、外部との交流は積極的にはおこなっておりません。	現在、外部との交流は実施しておりませんが、児童や保護者様からの要望があった場合には、今後の課題として検討してまいります。
	33 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。			9	日々の送迎時や家族支援の際にの様子や支援内容について説明をおこない、同時に保護者から園やご家庭での様子をお聞きし、共通理解を図っております。	
	34 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。			9	ペアレントトレーニングについては、家庭の状況やニーズに応じて実施しております。白旗から児童への対応について相談がある際には、助言や意図もお伝えするよう配慮しております。	
	35 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。			9	ご見学・ご契約時にご説明をさせていただいております。	
	36 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から、こどもや家族の意向を尊重する機会を設けているか。			9	計画作成の際には、児童や保護者様の意向をお聞きし、作成後も新たな情報を加味しながら支援計画の見直しを検討しております。	
	37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。			9	同意をいただく際には、計画書を確認していただきながら、丁寧に説明をおこなっております。	
	38 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。			9	ご相談やご質問、お悩みについては、日頃からコミュニケーションを大切に、相談しやすい関係づくりを心がけております。定期的に保護者面談をおこない、必要に応じて助言や支援をおこなえるよう努めております。	
	39 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。			9	児童発達支援と放課後等デイサービスの保護者様合同で開催をおこないました。就学に向けての不安や心配事などのお悩みを相談することで、お気持ち軽減されたことのお声をいただいております。	
	40 こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。			9	マニュアルを策定し、苦情が入った場合には迅速に対応するとともに、周知、再発防止に努めております。	
非常時等の対応	41 定期的に通信等や行事や、HPやSNS等を活用することや保護者に対して発信しているか。			9	季節ごとに「COMPASSだより」を発行し、公式Webサイトでは最新情報のほか、毎日事業所の活動内容をブログで紹介しております。	
	42 個人情報の取扱いに十分留意しているか。			9	個人情報の使用や使用後の処理、保管については細心の注意を払い、厳格な書庫にて厳重に保管しております。	
	43 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。			9	児童の特性や保護者様の状況に合わせ、十分に配慮した情報伝達手段で意思の疎通をおこなっております。	
	44 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。			9		現時点では、地域の方をご招待するような交流の場は積極的に企画するまでには至っておりません。
	45 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。			9	マニュアルは策定し、室内の見やすい場所に掲示しております。定期的に発生を想定した話し合いを職員間で実施しております。	
	46 業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的な避難、救出その他必要な訓練を行っているか。			9	地震・火災・不審者対応などの避難訓練を実施し、児童の安全確保を徹底するとともに、災害時に職員間で迅速な連携が取れるよう努めております。	
	47 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を把握しているか。			9	契約時に保護者様から服薬や予防接種、てんかん発作等の状況について聞き取りをおこない、必要な情報は全職員で共有しております。状況に変更があった際には、その都度確認し、適切に対応できるよう努めております。	
	48 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。			9		現在、食事の提供はおこなっておりません。
	49 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。			9	安全計画を策定し、室内に掲示しております。定期的に発生を想定した話し合いを職員間で実施しております。	
	50 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。			9	安全計画に基づく取組内容については、保護者様へ周知し、家族等との連携が図れるよう努めております。	
51 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。			9	ヒヤリハット事例については報告書を作成し、職員間で回覧・周知するとともに、事例集としてまとめられています。		
52 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。			9	虐待に関する研修を実施し、虐待防止マニュアルに沿った対応を徹底しております。また、他の事業所や学校、家庭での虐待事例についてミーティングをおこない、振り返りを通じて虐待の発生を防止できるよう努めております。		
53 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。			9	現在、身体拘束が必要な児童の利用はございませんが、利用契約書に身体拘束の禁止を明記しております。生命または身体を保護するため、やむを得ず身体拘束をおこなう場合には、あらかじめ文書により保護者様の同意を得ることとしております。		

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体でおこなった自己評価です。